

# せいちょう へんちょう こうぎ 声調の変調-講義

→ 問題演習 変調ドリル [exercise](#) [chinese](#) [phonetics](#)  
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/phonetics/変調ドリル-問題演習/>

## 1 導入

中国語では、単独での声調を記憶するだけでは不十分である。語や句が連続すると、発音を滑らかにするために声調が変化する。これを変調という。実際の会話では、この変化まで含めて自然な音声になる。

## 2 核心

変調の主要規則は四つである。

1. 第三声が連続すると、前の第三声が第二声に近い音へ変化する。
2. [不/bù] は第四声の前で [bú] に変化する。
3. [-yǐ] は後続の声調に応じて [yí] や [yì] に変化する。
4. 軽声は独立した四声ではなく、弱く短く添える音である。

## 3 直感

変調は例外ではなく、連続した音を成立させるための調整である。第三声は低く沈む音なので、それが二回連続くと発音が重くなる。そこで前半を持ち上げて、流れを整える。

## 4 規則の整理

### 4.1 三声の連続

#### Correct

nǐ hǎo  
你好。

[TON] 前の第三声が第二声に近づき、実際には [ní hǎo] に近い音になる。

#### Correct

wǒ hěn hǎo  
我很好。

[TON] 第三声が三つ連続する場合、語の切れ目に応じて前から順に調整する。

## 4.2 不の変調

### Correct

bù shì  
不是。

[TON] [不/bù] は第四声の前で [bú] になる。

### Incorrect

bù shì  
不是。

[TON] 辞書形のまま読むと、実際の音声とずれる。

## 4.3 一の変調

### Display

[-/yī] は、数そのものを示すときには [yī] のままである。

第四声の前では [yí] になり、それ以外の声調の前では [yì] になりやすい。

軽声の前では、もとの第四声を参照して [yí] になることが多い。

### Correct

yì tiān  
一天。

[TON] 第一声の前なので [yì tiān] に近づく。

### Correct

yí ge rén  
一个人。

[TON] [个/gè] は軽声で現れることが多いが、もとの第四声を参照して [yí ge] になる。

## 5 軽声

[妈妈/māma] や [朋友/péngyou] の後半は、四声を強く保たず、弱く短く添える。軽声は声調を消すことではなく、語の重心を配分し直す操作と考えるとよい。

## 6 見分け方

- 辞書に書かれた声調と、連続して読んだ音がずれるときは、まず変調を疑う。
- [不/bù] と [-/yī] は、後続の音節を確認してから発音を決定する。
- 第三声が二回続くときは、前半を上げるという方針で処理する。

## 7 要点

### Display

変調は例外ではなく、連続した音声を成立させるための基礎規則である。

単独の声調を覚えたあとに、連続時の変化まで固定すると、聞き取りと会話の自然さが改善する。

## 8 関連リンク

→ [\(定石集\) 変調規則一覧](#) [reference](#) [chinese](#) [phonetics](#)  
<https://study.bem130.com/reference/chinese/phonetics/変調規則一覧-定石集/>

→ [問題演習 変調ドリル](#) [exercise](#) [chinese](#) [phonetics](#)  
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/phonetics/変調ドリル-問題演習/>